

# 第2次群馬県企業局経営基本計画 進捗状況

(令和3年度実績)

令和4年6月  
群馬県企業局

# I 電気事業



経営方針（主な施策の方向性）	R12目標	R3実績	評価
<b>(1)電力の安定供給</b>	・ 運転可能率 98.3% → <b>99.0%</b>	98.9%	<b>概ね順調</b>
<b>(2)再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消</b>	・ 水力発電所リニューアル <b>4か所</b>	四万発電所 工事発注・施工中	<b>遅延</b>
<b>(3)収益力の向上と効率的な運営</b>	・ 新規発電所の建設 <b>5か所</b>	霧積発電所 設計中	<b>順調</b>

＜これまでの取組＞

## (1) 電力の安定供給

- ・ 水力発電所リニューアル  
四万発電所の工事に着手  
白沢発電所及び関根発電所のF I T認定手続
- ・ ICT等を活用したDXの推進  
管理総合事務所集中監視制御システム更新工事を発注  
タブレット端末を用いた巡視点検を試行、本運用に向け検討中

## (2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消

- ・ 新規発電所の建設  
霧積発電所の建設に着手
- ・ 電源群馬水カプランの活用推進  
3社に供給中
- ・ 水素エネルギー利活用  
概念設計を終了し、サウンディング調査実施

## (3) 収益力の向上と効率的な運営

- ・ 売買契約における一般競争入札への移行  
高浜発電所の売電を令和3年度から一般競争入札に移行
- ・ 発電所等を地域活性化の資源として活用  
八ッ場発電所にプロジェクションマッピングとPR動画を設置



〔八ッ場発電所プロジェクションマッピング〕



〔霧積発電所建設予定地〕



〔八ッ場発電所PR動画〕

## II 工業用水道事業



経営方針（主な施策の方向性）	R12目標	R3実績	評価
<b>(1) 強靱な工業用水道の構築</b>	・年間契約水量 72,327千m <sup>3</sup> → <b>75,092千m<sup>3</sup></b>	72,614千m <sup>3</sup> (+287千m <sup>3</sup> )	<b>遅延</b>
<b>(2) 収益力の向上と効率的な運営</b>	・渋川工水の更新・改良 (浄水処理能力の耐震化率) 0% → <b>100%</b>	0%※ (1号沈澱池完成)	<b>順調</b>
<b>(3) 良質な工業用水の供給</b>	・管路耐震化率 39.6% → <b>100%</b>	42.7% (石田川橋水管橋完成)	<b>順調</b>

※ 浄水処理能力の耐震化は、取水口、配水池等の浄水処理工程の全てが耐震化されることで100%を達成するものであり、R3年度時点では未了部分が残っているため0%となる。

### <これまでの取組>

#### (1) 強靱な工業用水道の構築

- ・渋川工業用水道の更新・改良（耐震化）  
1～3号沈澱池耐震補強工事完成
- ・配水管路の耐震化  
東橋水管橋・石田川橋水管橋耐震補強工事完成  
東毛工業用水道（東ルート、西ルート）耐震化完了
- ・職員の技術力向上に向けて、保安研修を実施

#### (2) 収益力の向上と効率的な運営

- ・給水価格の適正化  
渋川工水において、変動的経費の増加や今後の設備更新に対応するため、使用料金を1円/m<sup>3</sup>から2円/m<sup>3</sup>へ改定  
(基本料金は12円/m<sup>3</sup>で据え置き)

#### (3) 良質な工業用水の供給

- ・伏流水の活用検討  
東毛工水において、伏流水使用の可否を判断するため、既設井戸の揚水調査を実施する方針を決定



〔渋川工業用水道沈澱池補強〕



〔東毛工業用水道水管橋耐震化〕



〔東毛工業用水道全景〕

### Ⅲ 水道事業



経営方針（主な施策の方向性）	R12目標	R3実績	評価
(1)安全で質の高い水道用水の供給	・年間協定水量 65,536千m <sup>3</sup> → <b>69,256千m<sup>3</sup></b>	65,536千m <sup>3</sup> (R2～4 協定水量)	<b>順調</b>
(2)強靱な水道の構築	・県央第一水道の更新・改良 29.0% → <b>100%</b> (浄水処理能力の耐震化率)	53.9% (2系1列完成)	<b>順調</b>
(3)収益力の向上と効率的な運営			

〈これまでの取組〉

#### (1) 安全で質の高い水道用水の供給

- ・水質検査センターのあり方検討  
水質検査センターを県央第二水道へ移設し、浄水場における緊急時の迅速・柔軟な対応と、通常時の効率的な対応を図ることにより、水質管理体制を強化する方針を決定

#### (2) 強靱な水道の構築

- ・県央第一水道の更新・改良（耐震化）  
3系浄水処理施設（耐震性有）完成  
2系浄水処理施設更新改良工事を実施中  
2系1列の耐震補強工事完成

#### (3) 収益力の向上と効率的な運営

- ・年間協定水量の増量  
県央第二水道において、受水市町とR5～7年度の年間協定水量の増量に向け協議中



〔技術研修（油吸着資材設置）〕



〔水質検査〕



〔県央第二水道浄水場〕

## IV 団地造成事業



経営方針（主な施策の方向性）	R12目標	R3実績	評価
(1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成	・ 産業団地造成面積 <b>250ha</b>	23.7ha	<b>順調</b>
(2) 企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲	・ 新エネルギー活用住宅モデル事業の実施 <b>30区画以上の分譲開始</b>	システム検討	<b>概ね順調</b>
(3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進			

<これまでの取組>

### (1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成

- ・ 造成済 2 団地 (23.7ha)
- ・ 造成中 3 団地 (56.3ha) R5年度完成予定

### (2) 企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲

- ・ 分譲済 4 団地 5 件 (17.6ha)
- ・ I T 事業者（データセンター）やRE100参加企業などをターゲットに企業訪問を開始  
本県の魅力とともに企業局のCO<sub>2</sub>フリー電力、豊富な工業用水をPR

### (3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進

- ・ 分譲済 14 件  
民間ノウハウを活用したPRや分譲を推進
- ・ 新エネルギー活用住宅モデル事業  
概念設計を終了し、サウンディング調査実施



〔千代田第二工業団地〕



〔藤岡 I C 西工業団地〕



〔高崎玉村スマート I C 北地区工業団地〕



## V 施設管理事業



経営方針（主な施策の方向性）	R12目標	R3実績	評価
(1)収益力の向上と効率的な運営	・ 賃貸ビル入居面積 3,686㎡ → <b>4,232㎡</b>	4,100㎡	<b>順調</b>
(2)広く県民に親しまれるゴルフ場づくり	・ ゴルフ場利用者数 1 ゴルフ場当たり <b>45,000人/年</b>	55,034人/年	<b>順調</b>

<これまでの取組>

### (1) 収益力の向上と効率的な運営

#### ①格納庫事業

- ・ 入居者：4者 面積：2,541㎡ 入居率：73.5%
- ・ 長期保全計画を作成
- ・ 今後のあり方検討

#### ②賃貸ビル事業

- ・ 入居者：33団体 面積：4,100㎡ 入居率：96.9%
- ・ 長期保全計画を作成済
- ・ 今後の施設のあり方について検討



〔群馬ヘリポート格納庫〕



〔公社総合ビル〕

### (2) 広く県民に親しまれるゴルフ場づくり

- ・ 第4期指定管理者（指定期間：R4.4.1～R7.3.31の3年間）を選定
  - 玉村：(株)三商
  - 前橋：久松商事(株)
  - 板倉：東急リゾート&ステイ(株)
  - 新玉村：金井興業(株)
- ・ 外部有識者で構成する「群馬県営ゴルフ場事業あり方検討委員会」において、今後のあり方を検討



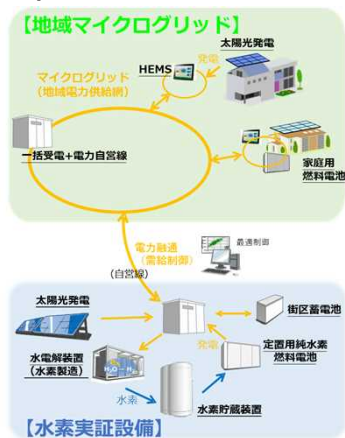
〔新玉村ゴルフ場〕

# 全事業共通の取組



## (1) 経営健全化の取組

- ・ 組織体制の整備と適正な定員管理  
経営戦略課に事業推進室を新設  
(経営基本計画を着実に実行)  
団地課施設管理室の体制整備  
(施設保全等へ適切に対応)  
発電事務所の体制整備  
(リニューアル工事への確に対応)
- ・ 人材育成・女性職員、障害者の活躍推進
- ・ 未利用資産の処分等資産の有効活用
- ・ 民間ノウハウ・活力の活用  
指定管理者制度、  
住宅団地分譲PR、  
水素エネルギー実証事業等の  
サウンディング調査  
など



〔水素エネルギー実証 (イメージ)〕

## (2) 地域貢献

- ・ 「ぐんま未来創生基金」への繰出
- ・ 地域振興積立金による文化・スポーツ事業への支援
- ・ 事業用施設を活用した学習機会の提供等
- ・ 市町村に対する小水力発電事業の技術支援、相談等の実施など



〔群馬交響楽団〕



〔ぐんまマラソン〕



〔施設見学会 (写真は令和元年度)〕



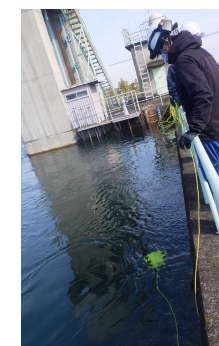
〔市町村の小水力発電所視察〕

## (3) 経営課題と新規事業の展開に向けた取組

- ・ DXの推進  
空中ドローン・水中ドローンの導入など施設の保守管理業務におけるDXを推進  
web会議システムによる局内外との会議、局内会議のペーパーレス化を推進
- ・ 調査研究事業の推進  
若手職員を中心に経営を取り巻く課題等について調査研究を実施  
発表会を開催し企業管理者等と議論 (R2:2テーマ、R3:3テーマ)
- ・ PRの実施  
tsulunosの活用によるPR動画作成・配信、ダムカードの配布、  
ハッ場発電所プロジェクションマッピング作成 など



〔浄水場PR動画〕



〔水中ドローンによる点検 (試行)〕